

会員数 60名 出席者46名・欠席者13名・免除会員3名  
欠 席 者 秋山恒・天野・麻田・後藤・池田・和泉享・竹中・松山・増田・森  
中野昌・曾川・山内光-会員

前々回出席率 72.41%(11/15)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 川原 一夫  
幹 事 福田 洋子  
会報委員長 岡田 将一郎

## お知らせ

- 11月のプログラム
  - 1 (No.1)-地区大会報告
  - 8 (No.2)-クラブフォーラム
  - 15 (No.3)-クラブ協議会G補佐公式訪問
  - 22 (No.4)-会員卓話
  - 29 (No.4)-ガバナー公式訪問

- 他RC例会変更  
坂出東 11/21→11/20合同例会

- ニコニコBOX;  
桑原ガバナーをお迎えて  
秋山憲夫君 夏見君 橘君  
投稿がR友の“友愛の広場”に  
掲載されて  
横田君  
本日はお世話になります  
桑原ガバナー様  
藤井ガバナー補佐様

<ニコニコ会計累積/¥237,623>

- がんばるBOX;  
出席できなくて  
竹内一君  
次女がお邪魔しています  
高岡君  
桑原ガバナーをお迎えて  
川原君 山内孝君

<がんばる会計累積/¥210,000>

例  
会  
場  
・  
事  
務  
局丸  
亀  
市  
塩  
飽  
町  
50  
|  
3  
丸  
亀  
プ  
ラ  
ザ  
ホ  
テ  
ル  
内

## ■会長挨拶

米山梅吉が14歳の時、仲の良かった友人「稲村真理」に出した手紙がありますので紹介したいと思います。

(手紙)

ああ、君よ、君よ、稲村君よ。余は君にむかい、頓首再拜、謹んで一つ願いがあ  
る。何ぞや、他なし。余は君の挙動を察するに、居止端正、すこぶる大度あり。実  
に余は多くの朋友に交わるといへども、いまだ君のごとき良友はいない。故に願  
いというのは、願わくは生長の後もたとえ千里を隔てていても、互いに兄弟のよ  
うに音信を通じて安否を訪問し、もって水魚交わりをしてほしいと思うのである。  
君よ、君よ、少しく余の心中を察察し、君においてもこれに意あれば、常に兄弟  
の誓を許すや否や。一片の返書を賜え。もし許されれば、また後日に為すところ  
あらんとす。梅吉叩頭百拝頓首運々々。梅馨より

稲村君閣下

## ■幹事報告

- ロータリーの友12月号60ページに横田会員の文章が掲載されています。タイトル人生は奉仕である
- Monthly Letter 14ページ訂正  
国際ロータリー年次大会2019の出発日5月31日です。帰りは6月7日です。
- 第12回香川県ロータリークラブ親睦ゴルフ大会参加の礼状が届いています。総勢145名の登録があったとの報告がありました。
- 桑原ガバナーからのお願い  
マイロータリーの登録、会員増強

## ■例会事業;ガバナー公式訪問

第2670地区のガバナーを仰せつかっている愛媛第I分区新浜ロータリークラブ所属の桑原です。本日は宜しく願います。先月新居浜で開催されました地区大会に多数参加され、大会を盛り上げて頂きありがとうございました。また、7月の西日本豪雨で当地区内もかなりの被害を受け、皆様に義援金を頂き大変感謝しております。(地区内外から、3,100万ほどの義援金を頂きました。愛媛県へ1,000万、高知県へ100万、大津ロータリークラブへ850面、八幡浜、宇和島、宿毛クラブへ450万ずつ配分させて頂きました。

本日はガバナー公式訪問ということで、当クラブで42クラブ目、地区内74クラブのうち後30クラブほど公式訪問を控えています。年内には難しいので、3月までと考えております。

丸亀ロータリークラブは明るく、若い会員が多く珍しいクラブ、新鮮な感じがして、とても期待しています。国際ロータリーの状況と、日本のロータリーでは若干の考え方の違いがあります。国際ロータリーは世界で何かよいことをしよう、そのために志を同じくするものは誰でもいいよ、ということで会員拡大しているが、日本のロータリーでは職業を通じての職業人の集まりが伝統である。



2016年の審議会で職業分類をはずすや、職業の中で1業種5名までという話があるなど、日本のロータリーには日本の伝統がある、ということを感じている方が多いのではないかと思います。これからは日本と世界のロータリー調整が非常に難しくなるのではないかと思います。私個人としては日本の伝統はしっかり守りたいという気持ちはあるが、日本全体としては国際的な流れに乗り遅れてもいいのだろうか・・・などの意見もあります。今現在では、この方針でいく、という方針が出ているわけではありません。ぜひ、皆様方もロータリーのあり方、進む方向を注意を持って見て頂き、その上で皆様ご自身でご判断をさせて頂けたらと思います。

さて、本年度のバリーラシン会長のテーマは「インスピレーションになろう」です。最初は意味として分かりませんでした。インスピレーションという言葉の意味がどうであるかということを理解しなければただ単にそれは何か？ということになってしまいます。丸亀ロータリークラブの計画書の2ページ目にわかりやすい言葉で書いてあります。「一番大切なことは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性を持って正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すため「インスピレーションとなる必要があるのです。」と。自分自身だけでなく、皆様方の”正面から立ち向かう意欲”をどうやって引き出すか、と捕らえました。皆さんに対し、前進する力、あるいは前進する気持ちというものをもって頂くための起爆剤となる、それが「インスピレーションになろう」ということだと思っています。ロータリアンが自分だけ、ということではなく、クラブの皆様方に対し刺激を与え、変革の手助けをする、そういう存在になるということ。

そして、ぜひ、地域を、クラブを変えていく力になって頂きたい、特に若い方に期待したいと思っています。その上で、私の本年度ガバナー方針「共に考え、共に行動しよう！」という言葉に決めさせて頂きました。自分がガバナーという立場になって、しっかり勉強するために皆様が活動している各委員会の現場と一緒に立会い、自分の目と体で体験させて頂くという思いで参加させて頂きました。各委員会で努力され、その結果の事業を知って、心から感動しました。